

お客様各位

キヤノンITソリューションズ株式会社

## DEX- II

### バージョン 5.01リビジョン01 変更内容について

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は、当社製品に格別なるご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。  
さて、当社製品「DEX- II」(Ver.4.40-01→Ver.5.01-01)において、  
下記のような改修を行いましたのでお知らせ致します。

敬具

記

#### [概要]

本バージョンの強化項目および改修項目はすべて、IBM版が対象となります。  
対象プロトコルは、全銀TCP手順、全銀-UST手順、JCA-UST手順です。

#### [強化項目]

以下の機能を強化しました。

#### [システム全般]

- ◎対応 OS を以下に変更しました。  
z/OS V1.8～V2.1
- ◎マスタの提供形態を CD に変更しました。
- ◎以下のマニュアルの提供形態を CD (PDF ファイル) に変更しました。
  - ・『ユーザーズ・ガイド』
  - ・『導入・移行ガイド』

#### [全銀 TCP 手順関連]

- ◎伝送テキスト長の最大値を「32K」バイトから「64K」バイトに拡張しました。また、数値入力 of 最大値を「2048」バイトから「65384」バイトに拡張しました。  
※独自拡張です。テキスト長に「32693」バイト以上の値を設定して通信するには、相手先の全銀 TCP システムが「32692」バイトを超えるテキスト長に対応している必要があります。
- ◎XLINE マクロの BUFF=パラメータの最大値を「32K」バイトから「64K」バイトに拡張しました。
- ◎ファイル制御電文 (終了回答) に対する肯定応答を送信する前でも、伝送処理が正常終了したとみなす伝送完了ポイントを追加しました。
- ◎伝送テキスト内に RDW を含まない指定の場合、可変長のレコード長の最大値を「32689」バイトに拡張しました。

#### [ユーザーズ・ガイド関連]

- ◎以下の現象を回避するための方法を、XUST マクロの BINDPORT=パラメータの説明に記載しました。  
XUST マクロに BINDPORT=パラメータを指定すると、その XUST マクロ配下に定義した回線をすべて CLOSE して、再度 OPEN しようとしたときにソケットエラーが発生することがある。

◎CATLOG 処理および UNCATLOG 処理のコード変換処理で利用しているコード変換テーブルを「VI 資料編」に記載しました。

◎着呼ログファイルのレイアウトを「VI 資料編」に記載しました。

## [改修項目]

以下の問題点を修正しました。

### [システム全般]

- ・DEXLOG からの読み込み、または DEXLOG への書き込み処理中に物理エラーが発生すると、実行した処理が異常終了する。

### [ファイル転送全般]

- ・コントロールファイルのエクステンション確認処理でエラーが発生すると、DEXM334I メッセージの xxxxxxxx 部が空欄になる。
- ・コントロールファイルへの読み込み処理で DEXM334I のメッセージが出力された場合、FDBK=に正しい値が出力されないことがある。
- ・多重伝送において、DEXM387I、DEXM383A のメッセージが出力された場合、処理内容(INPUT/OUTPUT)が正しく表示されないことがある。
- ・コントロールファイルを 2 重化した運用において、受信処理を行った際、正のコントロールファイルで容量不足のエラーが発生すると、DEXM334I ではエラーが発生していない CNTLFIL2 DD ステートメント名が表示される。また、DEXM354I メッセージは空欄になる。
- ・コントロールファイルを 2 重化した運用において、正・副ともにコントロールファイルエラーが発生した場合、副の DEXM334I メッセージの内容が空欄になる。
- ・TEXT=パラメータを指定した送信処理と受信処理の START コマンドを同時に入力した場合、先に入力した START コマンドが BUSY になることがある。

### [全銀 TCP 手順関連]

- ・制御マクロに定義されていないホスト識別名を LINE=パラメータに指定した START コマンドを入力しても、DEXM206A メッセージが出力されない。
- ・サーバ動作、クライアント動作が同時に行われると、XLINE マクロの GTERMSES=パラメータに設定した最大コネクション数を超えて、伝送処理が行われることがある。

### [UST 手順関連]

- ・z/OS V2.1 の APAR OA43153 に対応した PTF を適用していないと、コントロールファイルに存在するレコードを見つけれられない状態になることがある。

### [オンラインコマンド関連]

- ・CNTL コマンドで、DID=パラメータにワイルドカードを指定した XFLIE マクロ情報を照会した後、MODIFY コマンドでサイクル番号を変更しようとするエラーになる。
- ・GTERMSES=パラメータを指定した XLINE マクロに対して CNTL コマンドによる照会を行うと、COMMENT=パラメータの内容が表示されない。
- ・全銀 TCP 手順、および全銀・UST 手順で、TYPE=PC を指定した XLINK マクロ配下の XFILE マクロに対して CNTL コマンドによる照会を行うと、COMMENT=パラメータの内容が表示されない。

- ・ **MODIFY** コマンドを入力して、以下のすべての条件を満たしたファイル情報を照会した場合、異常終了する。
  - ・ **DID**=パラメータに **XLINK** マクロ配下の最後の **XFILE** マクロを指定
  - ・ **TEXT**=パラメータに **XFILE** マクロの **TYPE**=パラメータと異なる値を指定
- ・ 明細行が 8 行以上あるデータ ID に対して、**K**=パラメータを指定して **QCNTL** コマンドを入力すると異常終了することがある。
- ・ オンライン起動後、パラメータを省略した **REPLY** コマンドを入力して表示された最初の内容が、2 回目以降の照会においても表示される。

#### [ディスパッチ関連]

- ・ 以下のいずれかの条件を満たしている場合、受信処理で容量不足エラー (B37 または D37) が発生すると、ディスパッチ処理が実行されない。
  - ・ **XFILE** マクロで、**RESTART**=パラメータに「**YES**」または「**NO**」を指定
  - ・ **XFILE** マクロで、**RESTART**=パラメータに「**REC**」を指定、かつ受信済みレコード件数が 1 以上
- ・ 起動条件が「**FILE**=」で、伝送ファイルの作成直後にステータスを **END** に変更すると、ディスパッチ処理が実行されないことがある。
- ・ ディスパッチ処理でリトライオーバーした後、同ファイルに対して **START** コマンドを入力するとエラーになる。
- ・ **YES** を指定した **REPLY** コマンドを入力したにも関わらず、**XTIMING** マクロの指定時間外になると、リトライ処理が行われないことがある。

#### [ユーティリティ関連]

- ・ **DEXM350A** メッセージの **RPL-FEEDBACK-WORD**=に正しい値が出力されない。
- ・ **DEXM355A** メッセージの **RPL-FEEDBACK**=の先頭 2 桁に正しい値が出力されない。
- ・ **D** 形式の一括カタログ処理で、インプットファイルのレコード長が「4097」バイトより大きいと異常終了する。
- ・ 73 桁目以降に **NUMBER** が入力されている **JCL** で、サブパラメータを指定しない **SCRATCH** 処理、**LOGING** 処理、**RECOVERY** 処理を実行するとエラーになる。

#### [運用管理システム関連]

- ・ 全銀 **TCP** 手順、および全銀-**UST** 手順で、**TYPE**=**PC** を指定した **XLINK** マクロ配下の **XFILE** マクロに対して [定義ファイル]、または [送受信状況照会] で照会を行うと、**COMMENT**=パラメータの内容が表示されない。
- ・ コントロールファイルへのアクセスに失敗して、**DEXM385I** メッセージが出力された場合、**S**=、**D**=が文字化けする。
- ・ **DHELP** コマンドで出力する以下のメッセージ番号の内容が、『ユーザーズ・ガイド』の記載と合っていない。
  - DEXM132A**、**DEXM1461I**、**DEXM2062I**
- ・ **DHELP** コマンドで出力する以下のメッセージ番号に誤りがある。
  - 誤 : **DEXM1461A**
  - 正 : **DEXM1461I**

#### [ユーザーズ・ガイド関連]

- ・ 「I 概説編」 - 「第 3 章 DEX-II の構成と機能」 - 「3-2-2 制御マクロの動的反映」に、動的変更した設定がユーティリティや運用管理システムの処理では有効にならないことの説明がない。

- ・「Ⅰ 概説編」-「第3章 DEX-IIの構成と機能」-「3-11-3 コントロールファイルの2重化」の説明に誤りがある。  
 誤：読み出し処理は一方のファイルから行い、書き込み処理は2つのファイルに対して行います。  
 正：読み出し処理は一方のファイルから行い、書き込み、変更、削除処理は2つのファイルに対して行います。
- ・「Ⅲ リファレンス編」-「第2章 制御マクロ」-「2-1-3 凡例」の制御マクロの記号名に関する説明を補足しました。
- ・「Ⅲ リファレンス編」-「第5章 DEX-IIユーティリティの起動」-「5-1 ユーティリティ起動 JCL」の⑤の説明で、DATAFILEの綴りに誤りがある。  
 誤：DATDAFILE  
 正：DATAFILE
- ・XACTIV2マクロのMSGLVL=パラメータの説明に、運用管理システム専用のパラメータであることの記載がある。
- ・XACTIV2マクロのMSGLVL=NBUM指定の説明で、DEXM378Iメッセージが輝度変更の対象に入っていない。
- ・BSC回線のXLINEマクロのBUFF=パラメータの説明に誤りがある。  
 誤：最大伝送ブロック長  
 正：最大伝送テキスト長
- ・XLINEマクロのパラメーター一覧で、全銀TCP手順のPA=、およびUST手順のGTERMSES=、SOLINGER=の記載がない。
- ・XLINKマクロのパラメーター一覧で、全銀TCP手順のTYPE=、TSEQ=、TCPGRP=、および全銀-UST手順のTYPE=、TSEQ=の記載がない。
- ・全銀TCP手順、および全銀-UST手順のXLINKマクロのSTATION=パラメータの説明において、1次局動作に関する説明に誤りがある。
- ・XLINKマクロのTSEQ=パラメータの説明に誤りがある。  
 誤：ファイル制御電文のテキストシーケンス番号  
 正：ファイル制御電文のテキスト数
- ・XFILEマクロのパラメーター一覧で、全銀TCP手順・全銀-UST手順のADDINF=の記載がない。
- ・CATLOG処理のCODE=サブパラメータの説明に誤りがある。  
 誤：JCLコードに変換します  
 正：JISコードに変換します
- ・SCRATCH処理のSECNO=サブパラメータの説明に、障害レコードの取り扱いの説明がない。
- ・LOGFINIT処理の説明に着呼ログファイルの初期化でも使用できる記載がない。
- ・DEXM129Aメッセージの「説明：」、「操作員の応答：」の内容が不足している。
- ・以下メッセージの「説明：」の内容が不足している。  
 DEXM245I、DEXM246I、DEXM248I、DEXM249I
- ・DEXM254Iメッセージの「説明：」に誤りがある。  
 誤：ディスパッチ定義をすべて有効(または無効)にしました。  
 正：ディスパッチ処理をすべて活性化(または停止)しました。
- ・DEXM388Aメッセージの「DEXの処置：」の内容が不足している。
- ・DEX229メッセージの「操作員の応答：」の内容が不足している。
- ・DEXM1598Iメッセージの「操作員の応答：」に関する説明がない。

- 以下のメッセージ番号に誤りがある。  
誤：DEXM132A、DEXM378A、DEXM1461A  
正：DEXM132I、DEXM378I、DEXM1461I
- DEXM216I メッセージに誤りがある。  
誤：nFOUND  
正：NOT FOUND
- DEXM350A メッセージの「説明：」に誤りがある。  
誤：RPFPDF  
正：RPLFUNCD
- DEXM355A メッセージの「説明：」に誤りがある。  
誤：RPLPDF  
正：RPLFUNCD
- DEXM362I メッセージの「説明：」に誤りがある。  
誤：受信データファイルのアロケーションでエラーが発生しました。  
正：データファイルの動的アロケーションでエラーが発生しました。

#### [導入・移行ガイド関連]

- 「I 挿入編」-「第 2 章 導入作業」-「2-4-1 オンライン起動用 JCL」、 「2-4-2 ユーティリティ実行用 JCL」で DATAFILE DD ステートメントに DISP=SHR の記載がない。

以 上